

H28 山口大学医学部医学科 ディプロマ・ポリシー (DP)

ディプロマ・ポリシー (学位授与方針)

【学士課程】

医学科では、医学・医療の専門知識と技術を教授し、豊かな人間性を涵養すること、医学・医療の変化、医師の社会的役割の変化への対応能力を育成すること、国際的視野に立って医学の発展及び国際交流に貢献し、国際化に対応できる能力を育成すること、医学・医療の知識や技術の向上に積極的に貢献し、創造的な人材を育成することを理念・目的としており、所定の期間在学し、所定の単位を修得し、医学科の人材養成目的に適う、以下の知識・能力を身につけた上で、最終試験に合格した者に「学士(医学)」の学位を授与する。

1. 医療プロフェッショナリズム：教養科目を含む医学教育全体を通じて教養と倫理性を高め、患者中心の医療が実践できる豊かな人間性を涵養し、人の命と健康を守る医師としての職責を自覚して、基礎的な医療倫理的問題に対処できる。
2. 科学的探究心：医学・医療の発展に貢献できる創造的な医師・研究者を目指して、自ら課題を発見・提起でき、論理的に思考して問題解決や研究へとはぐくみ、その成果を文書及び口頭で発表できる。
3. 自己開発能力：医学科の教育プログラムと教育目標を把握し、生涯にわたって自己研鑽をつづける習慣を身につけ、医学・医療の変化や医師の社会的役割の変化へ対応できる自己開発能力の向上を図り、ICT(Information & Communication technology)能力を活用して修学に積極的に取り組むことができる。
4. 医療基盤力：医学・医療と関連する分野の知識と必要とされる基本的技能・態度を修得して、典型的課題に応用することができる。
5. 総合的診療能力：統合された知識・技能・態度に基づき、全身を総合的に診療する実践的能力を修得し、良好な人間関係を築けるコミュニケーション能力を有して、患者中心のチーム医療を安全に実践できる。
6. 地域・国際対応力：地域・国際社会において健康の増進と疾病の予防・根絶に貢献できる基本的な考え方と技能を身につけ、医学・医療の将来を展望し、自ら進むべき方向を決定できる。